

【報告】

国内外の博物館図書室の運営に関する調査報告

東京都江戸東京博物館の図書室は、博物館の付属施設として1993年の開館と同時に開設され、今日に至るまで江戸東京の歴史や文化に関する図書資料を広く収集・保存・公開する専門図書室として、運営を行ってきている。

当館の図書室は、江戸東京の歴史・文化・芸術の基本文献の多くを室内で閲覧できる環境にあり、気軽に調査・学習できる場として年間約36,000人の来室者を得ている。また、稀覯本も多く、珍しい貴重資料原本を直接手にとって閲覧し研究するために利用する研究者も多く、博物館内に併設されている図書室として、開室以来重要な責務を担いつつ実績を重ねてきた。

近年、インターネットの急速な普及に伴い、図書の分野においても、デジタル化の動きが世界的に進んでいる。当館の図書資料に関しても、デジタル化してネット上での公開を望む声が寄せられている。

こうした社会状況の変化と新たなニーズに対しては、課題としての的確に認識し、これにいかに対応し、よりよい図書室運営をするべきか、まさに今はその検討時期に来ているといえよう。

そこで、具体的には、 1. 資料のデジタル化 2. 資料の保存と活用 3. 内部・外部との連携 4. 多言語対応 の4点に視点を置き、先進的な取り組みを行っている海外の博物館・美術館併設の図書室、及び国内の類似施設を視察し、今後の当室の運営の参考にするべく調査を行った。

本報告は、下記一覧の日程・訪問先において行った調査に基づき、それぞれに赴いた当館司書によってまとめられたものである。個々の報告のテーマは、報告者それぞれが今回の調査において課題意識として持ったものに則し、自由に設定してもらった。

博物館の図書室で、実務を担う司書ならではの視点からまとめられた各報告は、当館の今後の図書室運営に多くの示唆を与えるとともに、同様の国内他施設の運営に携わる方々の一助となれば幸いである。

【報告1】アメリカ

報告者：阿部陽子・栗原智久（掲載順 以下同）

ワシントンD.C.	
2018年2月27日	フリーア・サックラー美術館図書室 国立自然史博物館図書室 BHL (Biodiversity Heritage Library) スミソニアン・ライブラリー デジタル部
2月28日	スミソニアン・ライブラリー・ギャラリー 国立アメリカ歴史博物館図書室 アーカイブズ・オブ・アメリカンアート
3月1日	ナショナル・ギャラリー図書室
ニューヨーク	
3月2日	クーパー・ヒューイット・スミソニアン・デザインライブラリー メトロポリタン美術館図書室

3月3日	ニューヨーク公共図書館 ニューヨーク近代美術館
3月4日	アメリカ自然史博物館図書室

* 日付は現地

【報告2】 イギリス

報告者：楯石もも子・小宮山めぐみ

2018年3月8日	ケンブリッジ大学（コーパスクリスティカレッジ）パーカー図書館 コンサベーションスタジオ セインズベリー日本藝術研究所リサ・セインズベリー図書館
3月9日	大英博物館アジア部日本セクション図書室
3月10日	ウェルカムコレクション・ライブラリー
3月12日	大英図書館東アジアコレクション日本部 コンサベーションセンター
3月13日	大英博物館各部門図書室/スタディールーム 人類学図書館・リサーチセンター アジア部図書室/パーシヴァル・デイヴィッド・スタディールーム イギリス・先史ヨーロッパ部図書室 ギリシャ・ローマ部図書室 エジプト・スーダン部図書室
3月14日	ヴィクトリア&アルバート博物館 ナショナル・アート・ライブラリー

* 日付は現地

【報告3】 国内1 沖縄

報告者：式淳子

2017年12月13日	沖縄県立博物館・美術館 情報センター 沖縄県立図書館
12月14日	沖縄県公文書館 紙修復保存工房
12月15日	那覇市歴史博物館 首里城公園

国内2 大阪・京都

報告者：井上美奈子

2018年6月14日	国際日本文化研究センター図書館
6月15日	京都府立京都学・歴彩館 大阪歴史博物館 大阪府立中之島図書館
6月16日	国立民族学博物館 みんなく図書館